



県警サイバーボランティア コマレンジャーを委嘱

県警は15日、駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)のコマレンジャー同好会を、インターネットを利用した犯罪の被害防止活動に取り組む「サイバーボランティア」に委嘱した。ご当地ヒーロー「コマレンジャー」に扮した生徒が、サイバー犯罪防止活動に努めることを誓った。

同ボランティアは、サイバーパトロールや犯罪被害抑止を図る啓発活動に取り組む。同会は、上伊那地方の小中学校で児童生徒らにインターネットの危険性やスマートフォンなどの適切な利用方法を指導す

サイバーボランティアの委嘱を受けた、駒ヶ根工業高校コマレンジャー同好会の生徒ら

る「スマホキャラバン」などの活動を行っており、今年で7年目の委嘱となる。

この日は県警サイバー犯罪捜査課の布施谷明子課長が生徒に委嘱状を手渡し、「インターネットの中は実空間と同じように危険にさらされている。一緒に安全安心を守っていきましょう」と要請。同好会長の城生麦さん(17)は「昨年はコロナで活動の場が少なかった。地域の方が安全に暮らせるよう、今年はたくさん活動したい」と話していた。

同課によると、昨年県内で摘発されたサイバー犯罪は135件(前年比42件増)で、3年連続の増加という。

(松本佳林)

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

7月16日(土)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2022